図師小学校避難所開設訓練反省会

日時：７月１日（土）　１４：００～

場所：図師小学校体育館

出席確認：２２名

・学校（副校長先生１名）

・防災課２名　指定職員４名

・地域町内会代表１４名

（もみじ台町内会３名 図師町内会４名 ライオンズガーデン１名　忠生四丁目町内会６名）

・町田警察忠生交番１名

2023年６月４日（日）に開設訓練実施。その訓練での反省点などを共有しあう。

当日の訓練参加者は全体で165名。

下記に意見メモをまとめ↓

（もみじ台町内会長）

・避難施設ごとで訓練している内容・レベルが異なる、地域の住民だけで避難施設開設できるように今後とも訓練必要。

・開設の初動が大事なのでそれを意識して訓練すること。

（もみじ台防災担当者）

・訓練回数を今後増やし慣れることが必要。

・訓練参加者に対して受付でバタバタしてうまくさばけなかった。対応ができていない。

・今後は地域参加者を更に増やしていきたい。

（図師町内会）

・訓練の前に町内会代表・役員が事前打ち合わせ行ったが全く活かされていない。

・訓練当日の体育館内での待機スペースの区分けもわからない。

・事前に区分け表示用のラミネート加工した掲示板も見当たらない。

・体育館内での待機中もずっと立ちっぱなしで指示がない。

・受付テーブル小さく、避難訓練参加者に対しての対応ができていない。

・避難者名簿の使い方も明確にしていない。

・こんな集まりにわざわざ呼ばないでくれと帰り際に言われる。

・マンホールトイレは正直女性には使えない。災害時の携帯用トイレを用意するようにしている。

（忠生四丁目）

・避難者の受付名簿を記入し受付してく流れはよくない。実際のときもできなにのでは。

事前に各世帯に配布するのでどうか。それも含めて運用方法を検討してください。

・この体育館実際に避難場所とし避難者をいれる想定したときのキャパシティ大丈夫？

・防災備蓄しているものの確認もできればよかった。

（ライオンズ）

・昨年からは防災計画を見直し、自宅避難を主としている。基本的には訓練参加はしないが、情報共有のためには避難施設とは連携・携わっていたい考え。

　⇒図師町内会でも基本的には自宅避難をアナウンスしている。

　避難施設⇔市民センター⇔本部と各避施設の情報共有・連絡を取り合う体制。

　・情報発信共有化など情報の流れについては防災課でも検討してほしい。

・避難所に食料や水を取りに来るだけでもいいか？→問題はない。ただし、物資には限りがある。

（指定職員）

・受付の対応と事前準備については見直し必要。

・避難施設で何を目的とし何を情報収集しているのかを明確にして発信する必要ある。

・非常用発電機など新たに導入した設備も紹介する必要ある。

（その他）

・体育館にある椅子は自由に使ってもらう。

・応急給水栓やマンホールトイレなどの設備は得意な人に積極的に扱ってもらう。

　代表の人は指示を出すだけのほうが良い避難施設になる。

・各々で防災レベルをあげて自分の身は自分で守ることを。

・震度6弱で避難所に指定職員は自動的に参集し、開設を始める。

・マンホールトイレはプールの水をポンプ汲み上げて利用しづらい。応急給水栓を図師小学校の配置的には利用可能。

・マンホールトイレの蓋を開ける滑車は利用できるのか。

・避難施設に自家用車では来ていいか？→不可。大きい地震では道路も走れない。

・避難者名簿見直し必要。所属町内会の記入できるようにする。

・体育館の点検シートを開設キットに入れる。

次回の打合せは、次年度の避難訓練に向けての事前打ち合わせ・準備など

12月3日（日）１０：００～予定。

・今後はリモートなど会議・打合せの方法も見直してほしい。

議事録作成指定職員